

河川

河川事業（10水系：新宮川水系、紀の川水系、大和川水系、淀川水系、加古川水系、揖保川水系、円山川水系、由良川水系、北川水系、九頭竜川水系）

ダム事業（3箇所：大戸川ダム、天ヶ瀬ダム再開発、足羽川ダム）

地すべり対策事業（1箇所：亀の瀬地区）

砂防事業（4箇所：六甲山系、木津川水系、九頭竜川水系、紀伊山系）

海岸事業（1箇所：東播海岸）

国民の安全・安心の確保

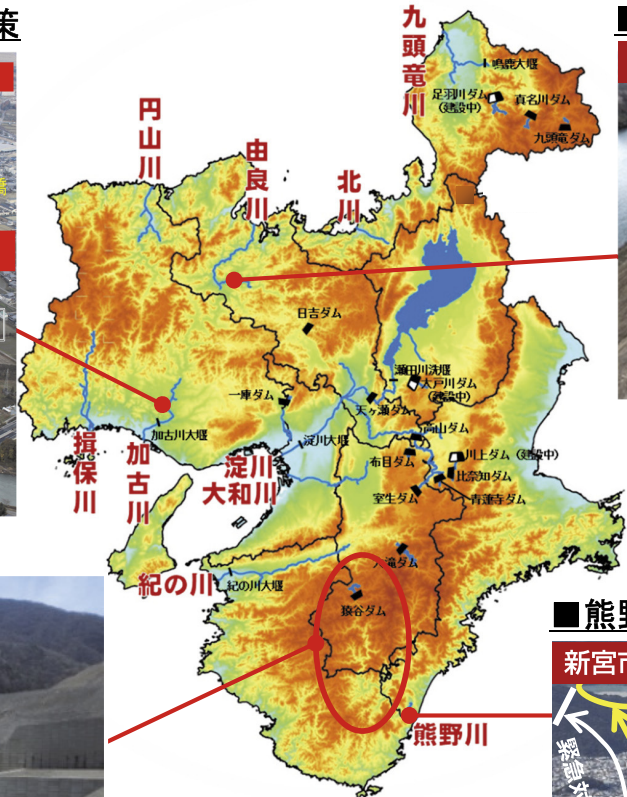
再度災害防止のための水害・土砂災害対策を重点的に実施

近年大きな被害を与えた災害に対し、緊急的な治水対策を実施することで再度災害を防止します。

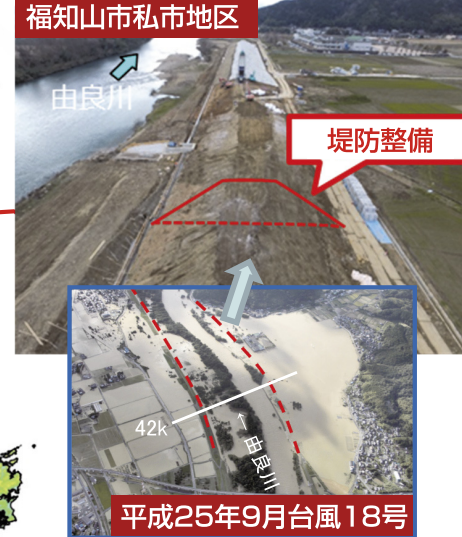
■加古川中流部緊急治水対策



■紀伊山系直轄砂防事業



■由良川緊急治水対策



■熊野川緊急治水対策



事前予防の治水対策により浸水被害を軽減

水害に備えた防災対策により治水安全度を向上させ、地域の安全・安心を確保します。

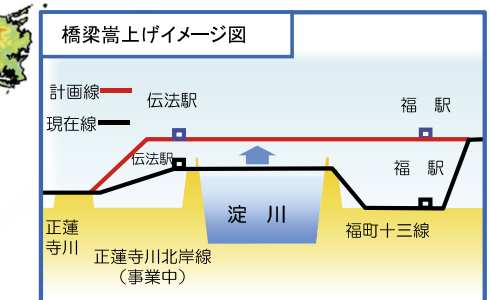
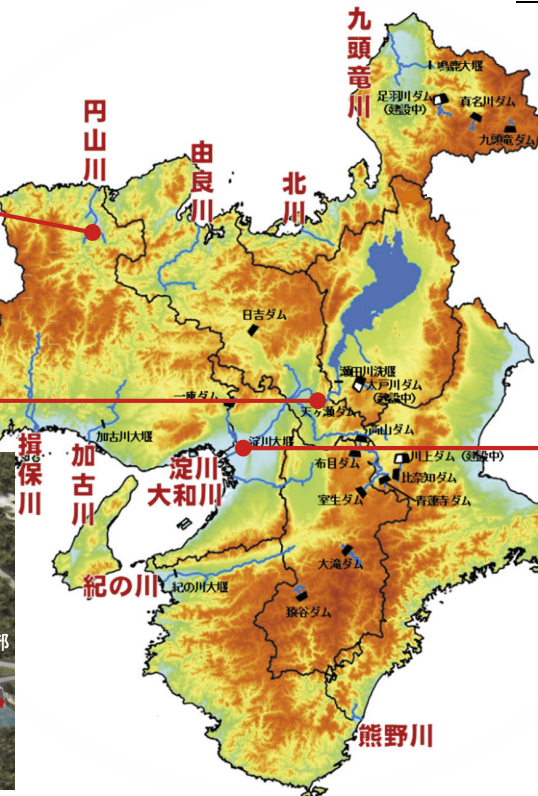
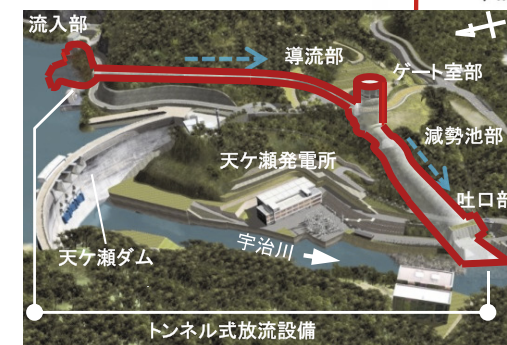
■円山川遊水地事業



■阪神なんば線淀川橋梁改築事業



■天ヶ瀬ダム再開発事業



「水防災意識社会」の再構築に向けた取組

関東・東北豪雨を踏まえて策定した「水防災意識社会再構築ビジョン」として、平成32年度を目途に実施する河川整備（「洪水を安全に流すためのハード対策」、「危機管理型ハード対策」）を引き続き実施します。

危機管理型ハード対策



住民目線のソフト対策



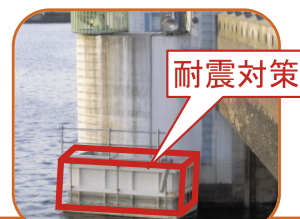
地域の活性化と豊かな暮らしの実現

河川を軸とした生態系ネットワークの推進

湿地整備等、水辺環境の保全・再生を行い、多様な生物の生態系ネットワークの形成を図ります。



切迫する南海トラフ等の大規模地震に備えるため、耐震対策を実施します。



南海トラフ巨大地震対策等の推進

流域自治体、河川管理者等からなる協議会を組織し、「逃げ遅れゼロ」、「社会経済被害の最小化」実現のため、関係機関が相互に連携・支援し、総力を挙げて一体的に減災に係る取組を実施していきます。



九頭竜川・北川減災対策協議会の実施状況